



我が家の防災・命をまもる (2)

◆火災から命をまもる◆

怖いものの例えである「じしん、かみなり、かじ、おやじは」もう昔の話？ おやじはともかく他の3つは今も最も怖いものに変わりはありません。特に「**火事**」は、人の不注意や油断で起きることが大半を占めており、最も身近でおこる災害です。火事が起きたとき、貴方の「日頃の対応」が自分や家族の命をまもることに繋がります。

(1) 火事をいち早く発見する為に、住宅用火災警報器を設置しましょう

- ・火災警報器は煙や熱を感知して、警報音や音声で火災発生を知らせます。**逃げ遅れ防止のため、火災警報器を設置しましょう**
- ・住宅火災で死亡した人の**56.3%**が**逃げ遅れ**が原因
- ・いち早く火事に気付くことで命をまもることができ、隣家への類焼も防げる可能性が高まります
- ・火災警報器は、平成16年6月に設置が義務化されています。**(寝室への設置は必須です)**

(2) 火事を発見したら

- ・**大声で「火事だぁー火事だぁー」と何度も叫びましょう** (家族や隣近所に知らせるのが重要です)
- ・急いで**119番**通報
- ・初期消火 (無理をしない)



(3) 煙から逃げる

- ・ぬれタオルを口と鼻にあて、地をほうのように避難する (なるべく息を止めて脱出)



(4) 初期消火

- ・**延焼を防ぐのが大事、火が出て2~3分が勝負**
- ・住宅用消火器であわてず落ち着いて火元に向かって
- ・消火器は、女性や老人でも扱いやすい**スプレー式**や火元に向かって**投げるだけの消火剤**もあります
- ・初期消火の成功率は60%、決して**むりをしない**



(5) 通電火災について

- ・電気ストーブや白熱電球を使ったスタンドなどは、地震による停電のあと、電気が復旧したとき、切れていたと思っていた電気製品が再び作動し、これが火元となって起こるのが、通電火災です
- ・阪神大震災では、原因が特定された**建物火災の6割が、通電火災**によるもので、火元は電気ストーブや白熱スタンド、オーブントースター等でした
- ・安価な対策として3000円ぐらいで市販されている「**感震ブレーカー**」の**設置**をお勧めします



防災便りは、富士が丘ポータルサイトにも掲載しています。
(<http://sanda-fujigaoka.com/> **富士が丘** で検索)

◆通信欄

- ・11月に入り気温も下がり暖房器具を使用する機会が増えてきます。くれぐれも「**火の用心**」をお願いします
- ・「火事」は、**不注意や油断**で起こることが多いと言われます。日ごろの備えや心がけで防ぎましょう

◆つぶやき◆

今回は火災について取り上げましたがいかがでしたか。防災便りの発行を始めて今号で6回目となりました。皆さんにどこまで伝わっているのかわかりませんが、一人でも多くの方が「災害への備え」を実践してくれることを念じています。(m.y)

